緑と清流のまち

わかさ 議会だより

第146号
平成25年
11月号
WAKASA TOWN

議会事務局のアドレスへ

いっぱい、はいれ

～こども園運動会～

P.2～3　24年度決算報告
P.6～9　一般質問Q&A
P.10　9月定例会
P.12～23　議会報告会
P.28　わたしの想い（尾坂さん、高木さん）

わかさ議会だより　No146　平成25年11月

平成24年度
決算
移住定住の促進へ
おためし住宅完成

▪商工費

・観光事業費	1967万円
・コンベンション開催助成事業	240万円
・氷ノ山集客促進事業	3143万円
・商工振興事業	3478万円

1億1500万円

▪消防費

・非常備消防費	2805万円
・常備消防費	6612万円
・災害対策事業	1302万円

1億円

▪災害復旧費

6500万円

▪民生費

・障がい者福祉費	8835万円
・後期高齢者医療事務費	7879万円
・生活保護扶助費	5064万円
・放課後児童クラブ	187万円

6億8000万円

▪衛生費

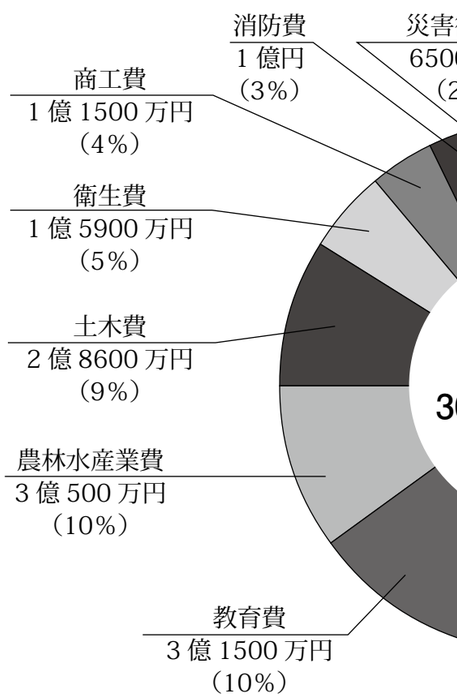
・塵芥処理対策事業	5995万円

1億5900万円

▪土木費

・道路新設改良事業	3716万円
・町営住宅管理事業	1080万円
・おためし住宅事業	3350万円

2億8600万円



※金額は四捨五入により合致しない場合があります。

▪総務費

・若桜鉄道対策事業	7856万円
・バス運行事業	3311万円

6億200万円

▪農林水産業費

・鳥獣被害対策事業	3758万円
・木質バイオマス資源活用事業	149万円
・地籍調査事業	2036万円

3億500万円

▪教育費

・小中一貫校整備事業費	1601万円
・通学対策事業	426万円
・温水プール管理	1663万円
・給食センター運営事業	1642万円

3億1500万円

特別会計

事業名	歳入	歳出	一般会計からの繰入金
国民健康保険	4億8504万円	4億7060万円	3118万円
介護保険	5億5667万円	5億3885万円	7751万円
後期高齢者医療	5112万円	5111万円	2011万円
簡易水道	8769万円	8656万円	3168万円
公共下水道	1億7432万円	1億7432万円	1億2839万円
農業集落排水	1億 125万円	1億 125万円	8564万円
赤松団地造成	678万円	678万円	678万円
財産区造林	369万円	369万円	なし
住宅新築資金等貸付	121万円	121万円	なし
索道会計	2億6290万円	2億5590万円	なし

一般会計

歳入 32億8873万円

歳出 30億8616万円

公債費 3億9589万円

＊事業を行うために借り入れたお金の元利償還金と一時借入金利子等の合計額。

決算審査特別委員会

主なる意見を付けて決算を認定

平成24年度

審査の経過及び結果

9月12日の本会議において、決算審査特別委員会に付託された案件を審査するため、本会期中の18日～24日に当委員会を開催し、執行部の出席を求め、慎重に審査を行いました。

当委員会に付託された議案は主なる意見と監査委員審査意見を重く受け止め、行財政の改革に努められることを期待し認定すべきと決定しました。

主なる意見

一般会計

①総務管理費

各基金

・基金積立は重要であるが、住民の要望を把握し、まちづくりに生かされたい。

交通対策費

・若桜鉄道の経営は、運輸収入が減っている。乗車運動を強めるとともに、観光収入を増やす手立てをされたい。

企画費

・ホームページ更新のタイミングと内容の充実を図られたい。

②社会福祉費

老人福祉費

・シルバー人材センターは、自主的な活動ができるよう育成指導をされたい。

③農業費

有害鳥獣対策費

・捕獲檻の設置は、住民情報の把握と管理責任者を明確にし、効果につながる管理をされたい。

決算審査の様子

④林業費

林業事業費

・林道開設後は、当初計画に沿った施業を確実に促進されたい。

⑤商工費

観光事業費

・若桜町観光協会のホームページは、内容が充実するよう指導されたい。

・まちづくりは、関係団体が個別で動くのではなく、統一性をもって推進されたい。

氷ノ山集客促進事業費

・若桜町観光開発事業団に多くの施設管理運営を委託しているが、行政としての指導を徹底されたい。

⑥消防費

非常備消防費

・自衛消防団の維持が困難となっており、対策を講じられたい。

⑦社会教育費

文化財保護費

・若桜町文化財保護は、今後の方向について十分議論し方針を示されたい。

特別会計

①各特別会計

・各特別会計の収支は、一般会計から繰入れをしているため、資金不足なしとなっている。一般会計からの繰入れを少なくする努力をされたい。

②簡易水道事業

・簡易水道の有収率（※1）は70％弱である。漏水調査の徹底をされたい。

③公共下水道事業

・公共下水道巻米処理区の接続率が低い。接続に向け対処されたい。

④住宅新築資金等貸付事業

・住宅新築資金等貸付金は、住宅新築資金等償還対策委員会と連携し、収納対策に努められたい。

（※1）**有収率**とは、送水する水量と料金として収入のあった水量との比率。

決算審査意見（要約）

監査委員　藤原　重明　　監査委員　上川裕見子

８月20日から27日までの６日間、平成24年度各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、すべての重要な点において適正に表示されているものと認められました。

会計における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認められました。また、基金に関する調書の計数並びに土地開発基金の運用についても、適正であると認められました。

留意、検討事項

○財政運営の指標

財政関係指標等の数値は、

経常収支比率83.5％→85.9％（2.4ポイント増）

財政構造は、弾力性を失いつつある。指針となる75％に向けた改善努力を望む。

区　分		数値	
		平成23年度末	**平成24年度末**
経常収支比率		83.5%	**85.9%**
実質公債費比率（単年度値）		9.8%	**10.6%**
実質公債費比率（3年間の平均値）		12.2%	**10.7%**
地方債残高		55億4642万円	**52億3415万円**
内訳	一般会計	32億1311万円	**30億8505万円**
	簡易水道事業会計	2億6551万円	**2億5760万円**
	公共下水道事業会計	11億6944万円	**10億6711万円**
	農業集落排水事業会計	8億6922万円	**8億　155万円**
	赤松団地造成事業会計	2915万円	**2283万円**
基金残高		17億　732万円	**19億7337万円**

○財産管理事務

①　公有財産の取得及び処分

道路用地（町道中川線）が取得されているが、所有権移転登記がなされていないので、適正に行われたい。

②　物品

物品の管理台帳が整備不足で、現在残高の把握がなされていない。公会計の導入も直近となっていることから、早急に台帳を整備され、適正な物品管理を行われたい。

○財産管理

地域福祉センター・ドリーミーの一部民有地については、覚書に基づいて、交換用地を確保するよう早急に対応されたい。

○各種税と使用料等の収入未済額の回収と管理

町税をはじめ各種税と使用料等収入未済額の回収は、以前と比べ全般的に収入未済額が減少しており、努力のあとがみられる。職員は一丸となり、気を緩めることなく回収に努められたい。

※その他、使用料等の取扱い、財務会計の見直し、財政援助団体の指導監督、交際費、災害対策についての指摘がありました。

定期監査の様子

まとめ

平成24年度の決算額は、歳入歳出差引残額２億256万円で、繰越財源を控除した実質収支は１億6517万円の黒字決算となっている。

また、特別会計（10会計）の実質収支額は、７会計が一般会計から繰り入れを受けた結果である。

特に、介護保険事業については、給付額が増加、その補填のために、一般会計からの繰入金が増加している。人口減少、高齢化が進んでいる当町では、ますます各種保険事業の給付額の増加が進むと予測されることから、これを抑制する施策が必要と思われる。

また、基金残高は増加傾向で、起債残高は減少傾向にはあるが、水道施設や公営住宅の改修などハード面の課題も山積しており、決して財政的に余裕があるとはいえない。限られた財源のなかで、合理的且つ効果的な行政運営を行われるよう期待している。

わかさ議会だより　No146　平成25年11月

Q 一般質問 A

詳しくは
若桜町ホームページ➡各課のご案内➡議会事務局➡会議録

９月議会定例会の一般質問は、９月13日に行われ、４人の議員が町政の課題について質問しました。
質問の要旨と町長の答弁を要約して紹介します。

質問者
川上　守 議員
中尾　理明 議員
坂本　等 議員
上川裕見子 議員

2期目総括
実績と成果は きめ細かく運営できた

川上　守 議員

Q 2期の実績と成果について伺います。

小林昌司町長

A 実績としましては、「こんにちは移動町長室」、「教育や子育てが充実したまち」、「健康でお互いが支え合うまち」、「安心・安全で快適に生活できるまち」、「森林や農地を活用した活性化を図るまち」、「歴史や文化、自然を大切にするまち」などを行いました。
新しい仕事を数多くし、要望に応え、きめ細かい行政運営をしました。

Q 2期目に取り組めなかったことについてはどうですか。

小林町長

A 「各集落のリーダー育成」、「住民基本条例」、「岩屋堂地内バイパス早期着工」、「若桜鉄道の活性化」、「まちづくり事業」、「移住定住問題」、「簡易水道事業」、「氷ノ山の観光」、「特産品開発」、「木質バイオマス事業」などです。

出馬表明する小林町長

次期選挙
出馬予定は 出馬する

Q 来年2月に選挙がありますが、町政を引き継ぎ、担当する意志、決意がありますか。

小林町長

A 町民の支持がいただけるなら、出馬をさせていただき、活力あるまちづくりを進める決意です。

若小跡地
思いは把握できたか パブリックコメントで

Q 現時点で町民の思いや考え方を把握できたか伺います。

小林町長

A アンケート用紙が分かり辛かったこともありました。
役場内の検討委員会で計画を作り、まとまった段階で、パブリックコメントを実施します。

Q こども園の入り口に至る道や駐車場は、給食センター解体後、優先的に整備されてはどうですか。

小林町長

A 子育て支援の充実をまちづくりの柱にもしており、皆さまの意見を大切に検討させていただきます。

林業振興
団地化成立は バックアップが必要

Q 作業道開設距離が減少しているが、団地化の遅れが原因と思います。いかがですか。

小林町長

A 計画どおり実施されれば、昨年並みになると見込んでいます。

Q 行政のバックアップが必要だと考えるが、所見を伺います。

小林町長

A 今後現場の調査も含めてバックアップしたいと思っています。

観光列車
実現に向け 目に見える対策を！ 引き続き、検討する

中尾　理明 議員

Q 議会報告会で、「若鉄の車両故障が多いが、車両の更新時期ではないか」との意見が出ました。その後、若桜駅を元気にする会総会でも、若鉄の方から、雨漏り対策で四苦八苦していて、車両更新を望む発言がありました。町として、どのようにお考えですか。

小林昌司町長

A 若鉄車両は現在、1両が平成13年購入、残り3両が開業以来26年間経過し、車体が劣化し、雨漏り等を修繕しながら運行している状況で、車両の更新も検討課題だと思います。車両は若鉄の購入となりますが、1両が1億5000万円位かかり、支援も必要だと思います。車両等鉄道も過疎債適用をと、県や八頭町、若桜町議会と共に要望活動を行っており、平成26年度実施を期待しています。

Q 平成26年度過疎債適用が決まれば、更新はその時点ですか。

小林町長

A 国が地域の公共交通を守るため、過疎対策に鉄道の追加が検討されつつあり、少し早まると思っています。

Q 同じ報告会の意見で、若鉄の改札窓口が込んでいた時、高校生が定期乗車券の購入しようとしたら、「翌日にしてくれ」というような対応がされ、大変憤慨されたようです。また、町外からのお客様が見学を急ぐのに入構券購入を長く待たされて気の毒だったとのことです。これは窓口担当者の接遇の問題もありますが、窓口を改修し、カウンター越しの応対にすれば事務室にも声が届くと考えますが、いかがですか。

小林町長

A 定期券購入時の係員対応は非常に遺憾で、若鉄に猛省を促し、社員教育を徹底するよう要請します。混雑時の入構券対応の改善は可能だと考えます。構造については、登録文化財でもあり、現状のままと考えます。

Q 若桜鉄道沿線活性化協議会で検討されてきた、平成24年5月10日付のSL観光列車運行計画工程表について、本年度はどのような予算措置がなされていますか。

運行を待つSLとDL

小林町長

A この工程表は、若鉄が、観光列車運行による収入増を図るため作成したものです。運行収支見通し等精査されてなく、費用対効果も限定的であるため、この計画は、若鉄取締役会でも承認されていません。しかし、町は運行の検討を行うため、昨年度はコンサルタント会社への運行の経費試算等調査経費を計上しましたが、JR関連会社は、SLの復元費用算出が困難で委託できませんでした。

Q 経済効果の試算が不調だったなら、それに代わる方法はないのですか。

新川哲也課長

A 現在、受託する事業者はありませんが、引き続き当たっています。

Q この工程表によれば、平成25年度には因幡船岡駅改修、すれ違いホーム設置となっています。工程表の中の設備導入、改修等を想定した取り組みが必要であり、過疎債の嵩上げが実現しただけでは、だめだと思いますが。

小林町長

A SLの運行が始まっても大幅に利益を上げるのは難しい問題です。若鉄を支えるべき若桜、八頭両町も財政基盤は弱く、鍵となる鉄道への過疎債適用の要望活動を強めているわけです。
※その他、社会保障改悪問題について質問されました。

Q 一般質問 A

町有財産
種類と数量、評価は
評価額は算定していないが検討する

坂本　等 議員

Q ①町有財産は常に良好な状態で、評価額を算定した管理が必要です。
　財産台帳の整備状況を伺います。
②平成11年9月議会で、湯川議員の質問で当時の町長は、町全体の財産は125億円と答弁された経過もありますが、町有財産の種類と数量、および評価額を伺います。

小林昌司町長

A ①行政財産と、普通財産に分類しています。台帳は紙ベースで管理していますが、今年度中に電子化作業を終了するよう努力しています。
②土地489万7273㎡（道路や公園等含む）。内山林が398万3117㎡。建物5万2235㎡。評価額は算定していません。
　他に、基金、有価証券、出資金、預貯金、車輌、備品等があります。

旧吉川分校
プール、トイレの管理は
使用は考えていない

Q 旧吉川分校のグラウンド、及びプールの管理はどうなっていますか。

高木政寛教育長

A 平成23年に閉校しており、プール、トイレの使用は考えていません。跡地利用については町長部局と検討します。

何かに使えないかナア（吉川プール）

新公会計制度
バランスシートの作成
平成24年度分から進める

Q ①行政サービスの費用対効果等を明らかにするバランスシート（貸借対照表）や、行政コスト計算書の作成等、新たな公会計制度の導入について伺います。
②平成24年度のバランスシートはどうなりますか。

小林町長

A ①財政の説明責任を果たすこと、資産状況や行政コスト等分析することで財政の効率化、適正を図るため必要です。
②総務省が示す改定モデル方式により進めてみたいと思っています。

地籍調査事業
体制強化して事業を早めては
来年度に向けて検討する

Q ①地籍は「土地に関する戸籍」であり、行政分野での活用、地権者の資産管理上からも重要です。平成25年度終了後の進捗率を伺います。
②田、畑、宅地等を優先していますが、山林、原野について継続されますか。山に入る人が少なくなり、平坦地より境界確認が困難になります。
③事業を早めるために地籍調査係の体制強化について伺います。
④固定資産税算出の公平性を保つために地域ごとで取り扱うべきと考えますがいかがですか。

小林町長

A ①調査期間は平成14年度から68年度までの55年間。町全体の面積199・31㎢から国有林51・2㎢と公有水面3・29㎢を除いた144・82㎢が対象です。調査済面積は4・14㎢で進捗率は2・86％、平坦地の対象面積6・74㎢に対して61・4％です。
②国の次期計画を待って、効率的な調査方法や経費の節減を図ることにより検討します。
③十分な地籍調査体制が取れていないことは認識しています。来年度に向けて検討します。
④法務局から登記済通知書が調査地域単位で送付されますので、実施地区ごとに一斉に行っています。

Q 一般質問 A

健康ポイント制度
病気・介護予防事業に導入を
事業効果があり、検討する

上川裕見子 議員

Q 健康寿命延伸のための事業の成果と見直しをお訊ねします。

小林昌司町長

A 個別癌検診自己負担減額などにより受診率がアップし県表彰を受賞しました。参加者が減少傾向な事業などの見直しや、TDAS（認知症診断機器）とABI（血管年齢測定器）を持ち集落へ出向きたいと思います。

Q TDASで引っかかった後のフォローが大事ですが、対応方法は。

小林町長

A 新年度に保健師を1名採用予定です。

Q ジェネリック医薬品使用依頼訪問活動により医療費削減効果があった自治体がありますが。本町の取組みはどうですか。

小林町長

A 昨年からジェネリック医薬品差額通知書を送付しています。情報提供に積極的に取組みたいと考えます。

Q 国が特別養護老人ホームは、要介護3以上の利用、要支援者は予防給付から事業に移行するなどの見直し案を示しました。対応策を早急に考える必要はありませんか。

小林町長

A 現在要介護1、2で施設入所が7名。受け皿作りは慎重に検討してみます。要支援者への対応は、地域支援事業での手当を早急に構築し、実施に移れる体制づくりをしたいと思います。

Q 鳥取市の自立支援ハウスに入居中の方もあります。改修し空いたままの旧寄宿舎を活用してはいかがですか。

小林町長

A 生活指導者を置くなどして活用できないか、検討してみたいと考えます。

Q 介護保険給付費が、平成20年度決算より6千万円余増加しています。今以上に予防の取組みが必要ではありませんか。

小林町長

A 自らが意識的に地域などで催される健康維持・増進活動の場に参加していただきたいと思います。

Q 伯耆町は、事業や活動への参加促進策として健康ポイント制度（事業に参加するとポイントがもらえ、ポイントが貯まると金券で使用・寄付ができる仕組み）を導入し、町民から大好評です。財源はふるさと納税です。本町も導入してはいかがですか。

小林町長

A 事業効果があると聞いており、実施に向けて検討したいと考えます。

氷ノ山グリーンエコリゾート計画
町の役割は機能しているか
詳細知らなかった

Q 「世界から誘客、世界に打って出る若桜氷ノ山ニューツーリズム」という壮大な目標実現に向け、町が果たす役割は機能していますか。

小林町長

A 氷ノ山両県一体マップの作成など具体的な取組みの検討準備をしています。多くの事業があるが誰がするのかとの問題が出ており、地域一体が協力し合うことが必要です。

Q 29号と中国縦貫道がつながっていないマップがあり、若桜のイメージがよくない。NHKの道路情報番組も同様。改善すべきでは。

小林町長

A その問題もあり、一帯マップができました。

Q 本年度事業にある集落支援員の導入計画を具体的に教えてください。

小林町長

A 実は、町は計画の素案の詳細は知らなかった。計画を否定するわけにはいかず、今後はそれを柱に仕事をしていきます。

九月議会定例会

シカ・イノシシ被害防止へ 捕獲奨励金大幅増額

平成25年度

一般会計総額 36億2756万円 1億1367万円追加補正

平成25年第４回議会定例会は９月12日に招集され、町長から提出された議案21件、議員提出議案３件を慎重審議の結果、全議案を可決し、９月26日に閉会しました。

専決処分の承認

財産の無償貸付について

一、無償貸付をする財産
旧池田小学校校舎、体育館

二、無償貸付の相手方
アロイ工業株式会社
代表取締役　下井谷絹子

三、無償貸付の期間
平成25年８月１日から
平成35年３月31日まで

四、無償貸付の目的
遊休施設となっている旧池田小学校校舎、体育館に企業を誘致し、雇用拡大や若者定住をはじめ、地域の活力向上につながるまちづくりを進める。

予算

平成25年度若桜町一般会計補正予算（第２号）

主な歳入
地方交付税　6900万円
地域の元気臨時交付金　1285万円
有害鳥獣駆除費補助金　1003万円
有価証券売払収入　605万円
林業専用道新設事業補助金　500万円
鉄道輸送対策事業費補助金　311万円
地域支え合い体制づくり事業補助金　114万円

プレミアム商品券

商工振興事業（プレミアム商品券）　1480万円
町道新設改良事業　695万円
災害対策事業　489万円
若桜学年管理費　378万円
給食センター費（備品購入等）　167万円

平成25年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第２号）

主な歳入
国庫支出金　△55万円
支払基金交付金　△66万円
繰入金　△66万円

主な歳出
一次予防事業評価事業　△221万円

平成25年度若桜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）
９万円追加し、総額5215万円とした。

平成25年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算（第２号）
775万円追加し、総額１億899万円とした。

平成25年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第２号）
245万円追加し、総額5399万円とした。

議員提出議案

・森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保の意見書

・消費税増税の凍結を求める意見書

・道州制導入に反対する意見書

WAKASA

請願・陳情書審査結果

９月議会定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重な審査の結果、次のとおり決定しました。

番　　号	件　　名	陳情者等	付託委員会名	審査結果
陳　　情 第１１号	年金2.5%の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部 委員長　増田　修治	教育民生 常任委員会	不　採　択 賛成１、反対８
陳　　情 第１２号	陳情書(NHKテレビ共同受信施設大規模改修に伴う事業費にかかる受益者負担金に対する助成のお願い)	テレビ共同受信施設組合長 (香田、三倉、屋堂羅、赤松、諸鹿、湯原、渕見、巻米、糸白見、吉川、岩屋堂、落折)	総務産業 常任委員会	採　　択
請　　願 第１３号	麻生副総理の『ナチスの手口を見習い、国民が気づかぬように憲法改定をするべき』という発言に対し、副総理及び財務大臣を辞任するよう求める意見書の提出を求める請願	憲法改悪反対鳥取県共同センター　代表 鳥取県労働組合総連合 議長　田中　暁	総務産業 常任委員会	不　採　択 賛成１、反対８
陳　　情 第１４号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進 議員連盟会長　板垣　一徳	総務産業 常任委員会	採　　択
陳　　情 第１５号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度２分の１復元をはかるための、2014年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情書	鳥取県教職員組合東部支部 支部長　棚田　厚 鳥取県高等学校教職員組合 東部支部 支部長　松本　憲幸	教育民生 常任委員会	趣旨採択 賛成１、 趣旨採択８
陳　　情 第１６号	消費税増税の凍結を求める陳情書	鳥取県消費税廃止各界連絡会 代表　奥田　清治	総務産業 常任委員会	採　　択
陳　　情 第１７号	道州制導入に反対する意見書の提出について（依頼）	全国町村議会議長会 会長　蓬　清二	総務産業 常任委員会	採　　択
陳　　情 第１８号	屋堂羅川小場ノ下付近の護岸嵩上げ及び、河床掘削に関する陳情書	屋堂羅自治会長 小林　俊介	教育民生 常任委員会	採　　択
陳　　情 第１９号	屋堂羅中村地区土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）の町道に接する部分の防止網の修復改善に関する陳情書	屋堂羅自治会長 小林　俊介	教育民生 常任委員会	採　　択
陳　　情 第２０号	桑外谷川ダム工事完了後の町道の補修舗装に関する陳情書	屋堂羅自治会長 小林　俊介	教育民生 常任委員会	採　　択
陳　　情 第２１号	屋堂羅神護地区の山斜面町道に接する部分の土砂防止網の設置に関する陳情書	屋堂羅自治会長 小林　俊介	教育民生 常任委員会	趣旨採択
陳　　情 第２２号	集落協定「屋堂羅B団地」区域の営農の活性化、及び農用地等の保全事業（芝生化）に対する助成についての陳情書	屋堂羅自治会長 小林　俊介	総務産業 常任委員会	採　　択

請願 陳情

請願・陳情は、町民の皆様が町政などについての要望等を、直接議会に書面で提出できる制度です。議長宛に議会事務局へ提出してください。提出された請願・陳情は関係の常任委員会で審査の上、本会議で採決し、採択された請願・陳情は行政に生かされます。

詳しくは、議会事務局（☎８２－２２１２ IP☎982－2212）にお問い合わせください。

平成25年度 議会報告会

第4回議会報告会各集落での意見交換をQ＆Aの形にしました。（若桜町ホームページには、各班の報告書を集落単位で掲載しています。）

あかまつ団地

Q 自主財源が減少傾向だが、今後の見通しは。

A 地方交付税が、予想より削減されなかったので、現在は心配ないと思われます。

Q おためし住宅への希望者と、分譲宅地購入者はありますか。

A 5名程度の要望があります。定期借地権での分譲地購入希望はあり、草刈等行っており、整備はされています。

Q 通学車両がとても満員だ。今後の対策を考えて欲しい。

A 民間の車両なので、回答は出来ないが、教育委員会に相談します。

Q 災害時にテレビも無く、ラジオ受信も困難なので、NHKの受信料を免除して頂け無いか。

A 各集落の公民館は、NHK受信料を支払っており、執行部に提案はしてみます。

Q 町名に相応しい、桜の木を植樹して欲しい。又、天狗巣病の対策は行っているのか。

A 町独自、関西若桜会、鳥取市若桜会など、毎年植樹は行われています。天狗巣病の処置は、行われていないのが実態です。

Q 町から委託料をもらいながら、観光事業団の自社優待券発行は、駄目だ。

A 事実確認が必要だと思います。

Q 権現橋の交差点の誘導ポールが危険に思うが。

A 国道なので即答できないが、町土整備課と相談してみます。

権現橋の誘導ポール

Q わかさ生協は、建替計画は有りますか。町内医師の高齢化が気になるし、心配だ。

A 当初予定していたが、今は白紙に戻りました。

若桜出身の医師が県内外にいますが、帰郷し、地域医療を目指す医師は、無いようです。

大野

Q おためし住宅を建築するが、採算は取れるのか。

A 採算ではなく、定住化対策として考えています。

Q デマンド便での通学は助かるが、満員で窮屈だ。今後、子どもが増える可能性もあり早めの対策を考えて欲しい。

A 定員オーバーはしていないと思うが、教育委員会に持ち帰り確認します。

Q 旧池田小の企業誘致、有効利用について、積極的に意見をして欲しい。

A アロイ工業（株）が操業予定だが、時期は明言できません。粘り強く意見したいと思います。

Q 間伐事業を積極的に推奨して欲しい。

A 実情を把握し積極的に予算内で行うよう担当課に伝えます。

大野防災訓練

Q 鳥獣害防止柵の申請時期、設定が悪い。

A 鳥獣害防止計画の見直しを含め持ち帰り検討します。

Q 農業専門員の実働、実態が見えないようだ。

A 議会でも意見はしています。農業専門員に、実態調査の要求をしたいと思います。

栃原

Q 蔵通りの黄色い道はどうなった。

A 町長がまちづくり協議会の意見を聞いて、再協議し改善する意向です。

Q 町内のチャレンジショップの利用期間と、アクセサリーのショップが若桜に来られたのは、なぜですか。

A 半年間です。地元と競合しない業種を選定している。移住、定住対策も関連していると思います。

チャレンジショップ

Q 議員定数に関する、アンケートの内容や状況はどうですか。

A 3択のアンケートで実施し、現状が8名、削減が1名、その他が1名です。

Q 社会福祉協議会と連携して防災訓練等を実施出来ないのか。防災専門員の仕事内容を、詳しく広報するべきだ。

A 計画中だと思います。担当課に確認いたします。

Q 庁舎内の職員対応が暗い。

A 要望します。

須澄

Q 調査研究された事は、若桜町の事業等に生かされていますか。

A 事業を執行する中で、先進地を参考に、意見、議論を重ね、町の発展のために生かして行きたいと考えています。

Q アロイ工業はどんな会社で、何を製造するのか。グランドは利用出来ますか。池小は避難場所になっているが。

A リチウム電池を開発、製造している会社で、契約はしているが操業時期は今年の秋頃になりそうです。

アロイ工業

今の説明では、利用できます。地域説明会が5月21日詳しく説明されます。

Q 役場職員は、仕事の処理が遅すぎる。

A 担当課に意見します。

Q 空屋の調査は今後どの様に進められ、移住、定住対策の現状はどうですか。

A 調査内容について、詳しい説明はされていないが、現在3件の移住者がありますが、継続して対応されます。

Q 道の駅の対応、料理が駄目だ。箸も汚い。

A 経営は好転傾向でない現状から、体質改善で再検討されています。

Q （有）若桜農林振興は元気がない。作業も下手で、窓口の対応も悪い。

A 農業専門員を交えて、意見をします。

岸野

Q 農業指導員は、指導ができていないのが現実だ。

（有）若桜農林振興、味工房も問題だらけだ。

A 具体的な回答は出来ませんが、意見、要望をしていきます。

Q 木質バイオマス事業に2億数千万円でやろうとしているが。現実的に木材の搬出が出来ると思えない。補助金の終了後の事も考えるべきだ。

A 雇用にも繋がると考え方もあります。将来展望には、議会としても心配しており、持帰り検討いたします。

Q 町の職員の対応が、悪い。職場を離れて昼ごはんを食べに帰る。緊急性のある事件があった場合、対応できないと思うが。

A 職務規則に違反が無ければ、仕方の無い事だが、指摘は行います。職員の意識改革が必要だと思います。

Q 報告会が農繁期で、時期が悪い。

A 定例会から約2ヶ月以内と定めていますが、持ち帰り検討したいと思います。

Q 議員のイベントへの出席率が悪すぎる。

A 強制的に出る行事ではないが、個人の考えで出席、活動、協力しています。

Q 道の駅の評判が悪い。市内から、仕入れをしている。本来の趣旨と違うのではないか。分析、追求をして頂きたい。

A 販売する商品が地元で集まらない現状です。仕入れは、状況判断しているようです。

道の駅桜ん坊

Q 若鉄のSLが、野外放置されているが。今後の運行計画はどうなっていますか。

A 車庫は出来ています。若桜鉄道と沿線自治体が一体となって実行していく事だと考えています。

Q　木質バイオマス事業を補助金でされるようだが、現実的に木材を通年中、搬出出来るとは、思えない。

A　新しい事業で答えにくいが、町有林で実験的に行う物です。雇用にも繋がると考え方もあり実践体制を確認すべきと思います。

Q　若桜町の名に相応しい、芝桜を植えたらどうだ。町民の協力で、桜にちなんだ苗を植栽したらどうだ。

A　植栽は少しずつだが、行われています。天狗巣病根絶の方が必要だと思います。

浅見・茗荷谷

Q　基金を積み立てても、将来の展望が見えない。

A　積立金を増やさずインフラ整備を進める事が、住民のためになる考え方もあります。

Q　国保税率を引き上げたが大変だ。

A　決定事項であり、住民への説明を十分する必要であると思います。

Q　上下水道懇話会はどの様に進んでいますか。

A　上下水道懇話会が開かれても結論は直ぐ出ないが、中間報告されると思います。集落でも共通認識を持った上で、意見をして欲しいと思います。

防護柵

Q　猪、鹿の捕獲用檻の、申請方法はどうですか。

A　申請すれば借りられると思いますが、担当課に確認いたします。

Q　防護柵の申請時期が悪い。職員の手続きが遅くて困っている。

A　他の集落からも出た問題です。執行部と協議して行きたい。

香田

Q　獣肉処理場や堆肥散布機は利用者が決まらないのに、予算を執行されるのは、矛盾している。

A　議会も、執行部の提案について、住民の意向を確認しています。

Q　旧若小の跡地利用はどうなる。アンケート調査をすると書いてあるが。解体前から考える事だと思う。

A　町長の見解は、住民の意見を聞きながら1年間後に結論を出したいと報告いただいております。

Q　おためし住宅の応募者はあるか。

A　県外者の方の応募を開始しています。

Q　公共下水の接続率が伸びていないが、接続しない方は責任料金を支払うべきだ。議会政策討論会の題材にしてはどうか。

A　今さら言えない部分もあり、事情説明等、整頓しないといけない。推進委員を作ったが解散した。担当課に伝えます。

Q　上下水道懇話会は、何をしているのか。

A　会合は行われているが、途中経過の報告が最近にあると伺っております。

Q　猟師が少ないが、役場職員に狩猟免許を取らせたらどうですか。

A　持ち帰り担当課等に検討させます。

Q　道の駅で町のPRをするのが本質であり、月曜日に休むのはありえないと思いますが。

A　経営状態を見ながら、試行錯誤している状況で、様子を見たいと思います。

㈲若桜農林振興事務所

Q　アロイ工業はいつ頃、来るのか。

A　流動的だが秋頃を目途に来る予定です。

Q　（有）若桜農林振興の活動状況はどうなのか。資金を入れるだけで、方向性が見えてこない。放棄地に作付けする位の努力をして欲しい。

A　給料制で農林振興の仕事は行われています。行政任せでは駄目だと思うが、実態は動いていません。

赤松

Q　井原、嵯峨野鉄道の経営状況はどうですか。

A　嵯峨野鉄道は、ＪＲ西日本が出資されて、黒字路線です。井原鉄道は、第3セクター方式の路線であり、調査に行ってきました。経営内容は赤字です。広島、岡山県に跨っており、2県合同持ち物。

Q　嵯峨野鉄道は、観光地としての比較、参考になり難いのでは。噂かもしれないが、議員も反対論や、足並みがそろっていないのではないですか。八頭町、若桜町、沿線も活性化が進んでいない様に見える。

A　言われるとおりです

Q　若桜大祭のみこしの担ぎ手はあるのか。観光客、帰省客に募集してはどうですか。

A　色々な決まりがありますが、良い意見を頂きましたので、担当課に伝えます。

が、国、県も協力してくれています。両町の力強いバックアップも必要です。

Q　池田の企業誘致事業は特に、議会にも応援していただきたい。従業員の確保が町内で確保できるのか。

A　心配の種でもありますが、応援します。雇用対策については重要であり検討いたします。

Q　議員定数の10名について問いたい。人口減少の中、先のことを考えて欲しい。

A　全体の意見を戦わせた結論です。

Q　空屋調査について、移住定住専門員の効果がありますか。議員はどの様に思われていますか。

A　正式に調査していますが、細かな処までつめていない。11月から15件程度ある。資料を持って大阪へ行き3件定住者があります。

Q　若鉄の車輌は、最近故障が多い様だが大丈夫ですか。更新の時期に来ているのではないか。

A　古くなっているのは事実です。雨漏りがしているのは始めて聞きました。持ち帰り駅に確認いたします。

Q　若鉄の定期券を購入に行ったが断られた。特に学生に対する扱いが悪い。

A　担当課に伝え確認いたします。

若桜鉄道駅舎

Q　駅舎内、職員の態度が悪い。売店が常時開いていないので、観光客の方が不満を言っていた。特に学生の扱いが悪い。

A　観光客が増えている時期であり、問題は大きい。乗車運動を推進する上でも、改善して行かなければならない問題だと思いますので提言いたします。

Q　木質バイオマス事業について聞きたいが、儲けになるのか。今は補助があるが、数年後補助金が無くなってから、続けていけるのか。

A　我々が返答するのはどうかと思うが、補助事業です。担当者の説明では、未来的な事業であり、間伐事業にも関連します。担当課に伝えます。

Q　公民館のＮＨＫ受信料、下水道料金が（１２００円）きつい。戸数の減少で困っているが。

A　持ち帰り関係機関及び担当課で検討いたします。

Q　鳥獣対策で防護柵の補助の出る時期が遅く、実質作業が出来ない。

A　議会も、再三意見しています。実態に応じた対策を検討させていただきます。

屋堂羅・口屋堂羅

Q　急傾斜、危険地域の陳情書が不採択になった要因は。
不採択をした時に説明を添えて欲しい。

A　不採択になっても、県に要望は届くと思います。議会で検討して回答します。

Q　鳥獣害対策で防止策の申請は何時からですか。

A　申請の受付は5月末に回覧が回り、費用の5／6は出ます。

Q　災害復旧工事の、未着工部分はどうなるのか。

A　陳情等行ってほしい

Q　不特定工事というのは今でもありますか。

A　あります。

高野

Q　通学対策についてですが、現行のままの通学方法ですか。

A　現行のままです。

Q　ごみのステーションの対策を取られるのか。

A　委員会視察の報告であり、実現できるとは言えないが、必要な事だと思います。

Q　憩いの家の、指定管理料の増額をお願い出来ないですか。指定管理を受けない場合も考えています。

A　陳情等で対応して欲しいが、執行部に検討させます。

Q　耕作放棄地について、後継者を後押しする制度がありますが、周知徹底して欲しい。農家を対象に座談会を行って欲しい。

A　町が認定した担い手に出されるものです。執行部に要望してみます。

Q　町内の業者や町内の若者に、定住対策や、チャレンジショップについても、該当する物はない。働く場所もない。

A　即答は出来ないが、今後の課題にする意見だと思います。

Q　簡易水道の改修は行われるのか。水道が濁るので対応して欲しい。

A　担当課に意見します。

耕作放棄地

Q 若桜には、食事する所が無い。お店をする人に、個人的に補助は出来ないのか。

A 商工会の仕事だと思う。個人向けの物は今現在ないと思います。

農人町

Q 調査研究の結果を、町政に生かして行こうとされていますか。

A 具体的に即座に出る事はないですが、執行部に意見、提案をして行きます。

Q 報告会の出席率はどうですか。

A 出席率は、宿内や大きな集落が悪いようです。

Q 馬橋付近を20m位、2回除雪して欲しい。

A 実態を除雪会議で要望して欲しい。除雪機の貸し出しを要望されるのも、解決策だと思います。

Q 町営住宅の取り壊した跡に、物が置き放題になっている。状況を調べて、綺麗にして欲しい。

A 町が管理する土地だと思う。担当課に伝え対応させます。

Q 鳥獣害防護柵を町全体網羅するよう張ったらどうですか。

A 全体に行う事は出来ないが、要望の一環として持ち帰り検討します。

Q 災害時の避難場所は何処になりますか。

A 体育館の予定だと思いますが、担当課に確認して返事をします。

中町

Q 若桜鉄道ミュージアムの意味、どの様なものですか。

A 県の補助金などで、構内の整備等を行う事業で、主にバリアフリー化を整備しています。

Q ごみステーションの調査研究について、概要を教えて欲しい。

A 赤磐市では、20万円の補助があるようです。若桜の分別回収はよい方だと思います。

Q 若者を集めた報告会をされてはどうですか。

A 全員協議会で検討したいと思います。

Q 上水道の整備は、どの様な工事内容ですか。

A 老朽化で、漏水・破損しやすい石綿管の取り替え工事をしています。

Q 若小の跡地でグラウンドゴルフをされていますが、使用条件はどの様に為っているのか。

旧若小跡地

A 結論は出ていないと思います。防災避難所との兼ね合いもある。行政に意見して、ルール作りを含め再検討させます。

Q 県外で、移住者が増えている所もある。町でも推進されてはどうですか。

A 誰でも対象にする訳には行かないと思う。高齢者だけでは駄目で、ある程度限定が必要だと思います。

Q 町営住宅を改修するより、空屋を修繕し、定住を推進して欲しい。

A よい意見を頂きました。持ち帰り検討いたします。

Q 若い人が、永住できる町づくりをお願いしたい。

A 最大のテーマだと考えます。簡単ではないが、町全体で考える事だと思います。

Q 観光客がお金を落とす施設がない。積極的に計画を進めて欲しい。

A 全国に通じる町づくりを計画した過去もあり、観光客に喜んで頂けるものを模索中です。

Q 鬼ヶ城の、行き止まり小口が分からない。標示、保存方法は決まっていないのですか。

A 担当課に持ち帰り、確認と検討させます。

落折

Q 水道施設を新しくした場合の算定を早く出してほしい。

A 近々上下水道懇話会の中間報告が出る予定です。

ごみステーション

加地

Q ストックヤードについて、池田地区資源ごみストックヤードの床の修理が必要。旧農協池田支所に変えてはどうか。

A 旧農協池田支所は段差がなく寄りつきもいいので了解が得られれば、変えるのはいいと思います。

Q ごみステーションの整備補助制度を創設するよう元気を出してほしい。

A 確かに大変。増やすよう働きかけます。村中線改良時に整備できないでしょうか。

Q 融雪方法を変更したい。大川からパイプを60mほど引いてもらえないか。

A 集落の維持管理の負担軽減になるなら陳情されてはどうですか。

Q 消防水利が1か所だが、川上にもう1か所設置できないか。

A 防災専門員に相談されてみてはどうですか。

Q 若桜の物を東京の金持ちを相手に稼ぐべき。アンテナショップに若桜の物が並んでいない。

A 同感です。

Q 道の駅の運営方法を手数料ではなく、平米いくらでスペースを貸し出してはどうか。

A （氷ノ山公共施設調査特別委員会開会時、平井理事長に伝えました。）

Q 医療と福祉の一貫的な事業体をつくるべき。

A 重要課題として議会内で議論してみたい。

Q 町職員が市内から上がっているが、手を打つべき。「公務員とはなんぞや」との自覚が必要だ。

A 優秀な職員を確保するためのようです。また、個人的な縛りができないようです。

Q 住民と問題を共有できる資料にしてほしい。歳入は家庭の財布に例える。歳出も具体的に何に使われ、何を節約しないといけないかを考えられる資料でなくてはいけない。

A 分かりやすい資料になるよう、来年度に向け協議したい。

Q 議会基本条例の検証結果は、「3・02」で、3年間で一番低い。議会、議員の評価を別々に示してはどうか。「3」以下の人には議長が指導すべきでは。今期の公約はできていますか。一般質問の回数はどうですか。

A 自己評価なので、評価が曖昧になっています。評価方法についても苦慮しています。

Q 町営バスを大野橋経由にして、橋の所に加地バス停を新設できないか。

A 公共交通会議で了承されれば、新設は可能だと思います。陳情をされてはどうですか。

Q おとどしの台風で上手の大井手の取水口、頭首工が壊れている。防火・農業用水にも使っていい。

A 視察に行き補助制度は必要だと思ったので、要望が叶うよう私たちも頑張ります。

Q 議会基本条例の検証結果は、「3・02」で、3年間で一番低い。議会、議員の評価を別々に示してはどうか。「3」以下の人には議長が指導すべきでは。今期の公約はできていますか。一般質問の回数はどうですか。

A 自己評価なので、評価が曖昧になっています。評価方法についても苦慮しています。

Q 町営バスを大野橋経由にして、橋の所に加地バス停を新設できないか。

A 公共交通会議で了承されれば、新設は可能だと思います。陳情をされてはどうですか。

Q おとどしの台風で上手の大井手の取水口、頭首工が壊れている。防火・農業用水にも使っていい。早く修繕してほしい。

A 担当課に聞いてみます。
（後日、県からの返事を改めて担当課が伝える。）

吉川

Q 獣肉解体施設はいつ稼働か。

A 八頭町などとの協議が必要で、具体的なことが進んでいません。執行部は、6月定例議会には設置管理条例を上程したいとのことです。

29工房

Q 資源ゴミステーションが1か所で大変だ。もう1か所設置してほしい。

A 結論は出ていないと思います。防災避難所との兼ね合いもある。行政に意見して、ルール作りを含め再検討させます。

Q 県外で、移住者が増えている所もある。町でも推進されてはどうですか。

A 誰でも対象にする訳には行かないと思う。高齢者だけでは駄目で、ある程度限定が必要だと思います。

Q 町営住宅を改修するより、空屋を修繕し、定住を推進して欲しい。

A よい意見を頂きました。持ち帰り検討いたします。

Q 若い人が、永住できる町づくりをお願いしたい。

A 最大のテーマだと考えます。簡単ではないが、町全体で考える事だと思います。

Q 観光客がお金を落とす施設がない。積極的に

根安

Q アロイ工業は若桜にきてくれるのか。

A 鳥取工場の遅れもあり、秋には操業と聞いています。

Q 移住に対して問い合わせはあるのか。

A 定期借地権宅地は申込有、おためし住宅も問い合わせがきています。空き家には仏壇がありなかなか貸してもらえないようです。

Q 想いは行動に移し、達成してほしい。

A 心に留め頑張ります。

Q 職員が挨拶もしない。研修が必要ではないか。

A お金をかけてでも専門家に研修をしてもらってはどうかと思います。

大炊

Q バイオマスだが、残材を出すと言っても林道がないところはどうされるのか。また、材は、いくらで引取ってもらえるのか。

A 作業道をつけ間伐しており、残材の搬出も可能です。買取り価格は未定。今年度、「地域おこし協力隊員」を採用し調査します。

Q おためし住宅の借り手はあるのか。

A 問い合わせがきています。また、定期借地権についても申込があります。

Q 神直の避難所は糸白見だが、大水が出た時橋を渡るのは怖い。

A 専門員と歩いてみて、その上でよい方法を考えてはどうですか。

Q 登校時間までに歩道除雪をしてほしい。

A 集落に配備されている小型除雪機で、できないですか。

こども園前

Q こども園の前を整備してほしい。

A 給食センター取壊し後、整備する計画になっています。

湯原

Q 調査研究に行き、執行部にこれはさせたいというものは何か。

A 生産者の顔入りシールとゴミステーション整備補助の導入。

Q 移動販売でポイントが付かないのは残念。

A 他の集落からも意見があり、トスクの職員に伝えました。

移動販売車の買物風景

Q 議員のレベルアップの方法は。

A ① 政策討論会がいいと思います。
② 研修センター等での学習もあります。

Q 保健指導は保健師による戸別指導が効果的だ。

A プライバシーのこともあるので、必要なことだと思います。

諸鹿

Q 日曜祝日もバスを走らせてほしい。

A デマンド便が走っているが、利用実績がないので言えません。

Q クマの放獣は止めてほしい。

A 2回目の捕獲時には殺処分しているようです。

Q ゴミステーション補助、是非導入してほしい

A 実現するよう頑張ります。

内町

Q 井原鉄道は赤字か黒字か。

A 何億円もの赤字です。

Q 若桜鉄道の将来展望はどうか。

A 利用者減の埋合せが観光鉄道です。SLは、今走るかどうかは未定です。

Q 水道施設整備の償還はいつ終わるのか。

A 担当課に聞かないとわかりません。

Q 村で管理者をつくり檻が置けないか。

A いい考えだと思うので、担当課に伝えます。

Q 水源地の近くまで除雪してほしい。

A 伝えます。
（担当課A：200m位の距離だと思うので確認します。）

Q 若桜鉄道の将来展望はどうか。

A 利用者減の埋合せが観光鉄道です。SLは、今走るかどうかは未定です。

Q 井原鉄道は赤字か黒字か。

A 何億円もの赤字です。

Q 水源地の近くまで除雪してほしい。

A 伝えます。
（担当課A：200m位の距離だと思うので確認します。）

若葉団地

Q 保護者等の送迎車両が、かなりのスピードで団地内を抜けている。危ない。安全運転の徹底を。

A 保護者会で話し合っていただきたい。

Q 橋がよく凍る。水はけを良くしてはどうか。

A 凍結防止剤が撒けないか検討するよう伝えます。

Q イヌワシの人工ふ化の研究や、戸倉から高野までの桜並木でまちづくりができないか。

A いいアイデアだと思いますので伝えます。

Q 配布物が多い。無駄は省くべき。

A 回覧やIP告知で足りるものもあると思うので伝えます。

Q 水洗トイレにしてほしい。

A 新しい建屋から直しています。古い建屋は改築の予定です。

Q 議員の評価、下がるのは良くない。

A 評価の内容は、議会と議員に対しての2つの評価があり、合算での平均値。物差しがなく難しい。

Q 議員の活躍ぶりがよく解らない。

A 議会だよりが広報の主たる手段。個人でブログをしている議員もいます。

Q 若桜木材の上と下、年に一度は葛目などの処理をしてほしい。

A 担当課に伝えます。
（担当課A：町道の脇は、町が管理している。水路から法面にかけては、昨年度は若桜木協が草刈りを実施された。）

上高野

若桜橋歩道橋

Q 夢のある若桜にしてほしい。若桜鉄道は、どうするのか。

A 県は結構頑張ってくれている。SLは試算ができない状況です。町長は、まずDLを走らせたいとの答弁でした。

Q 被害防止柵などの申請は、3月にするよう改善してほしい。

A 害獣はすでに4月から出ており、早い対応が必要なことは理解するので伝えます。
（担当課A：3月だと県の補助金がつかないので無理です。）

西町

Q 積極性のいる婚活だけでなく、コソコソッと話をしてくださる仲人制度がつくれないか。

A まず先に、結婚への意欲をもたせる研修が、必要ではないかとの話がありました。

Q 鳥獣害はサギも深刻。卵のときに駆除しないと増える。

A 担当課へ伝えます。
（担当課A：シロサギは有害の対象外。駆除より被害対策が優先される。また、産業被害でなければ有害指定はされにくい。卵やヒナは保護対象です。）

Q 公共施設整備に欠陥があったときは、誰が責任を執るのか。

A 最終責任者は町長。職員に専門家がいない分野は、業者に管理委託の場合が多いです。議会はチェック機関であり、注視しなければなりません。

Q 議会報告会やまちづくりについて、町民に関心を持たせるようにしないといけない。

A 最近は、町の話題がメディアに取り上げられることが多くなっています。

上町

Q 防災無線の入りが悪い。

A 機器不良なら無償更新が可能です。役場総務課に電話をしてみて下さい。

Q ホームページ、内容が乏しい。智頭町のように充実してほしい。

A 町長もホームページの更新をしたいと言っていました。

Q IP放送用の画面に映すお知らせを貼るパネルが欲しい。

A 耳の不自由な人への対応もでき良い考えですので、伝えます。

Q 広報の人口動態はよく見てもらえるところに掲載した方がよい。

A 以前は表紙にあったと思いますので、伝えます。

Q 中之島公園の花壇の管理と犬の侵入禁止の徹底をしてほしい。

A 犬はIP告知で啓発中。花壇は調べてみます。

中之島公園花壇

Q 旧中学校のLEDの防犯灯だが、もう少し道路に出せないか。

A 確認してみます。
（担当課A：道路用ではなくグラウンドの防犯灯として設置したものであり、現状のままで理解願いたい。）

新町

Q 調査研究の成果は。

A 議員の意識を返るためには重要だと思っています。林業や交通政策で、以前視察したものを参考とした例があります。

Q SL観光は実現可能なのか。お金を落とす工夫も必要だ。

A SL運行収入のみで成り立っているところはありません。若鉄はDLでやってみようかというところです。

Q 下水道接続をしていない家への町の動きは。

A 将来的居住の有無と工事費の問題があります。町外に住む家族が何とかしようと考えて下さるといいのですが。

Q 旧池田小学校のグラウンド使用時に、外で使えるトイレが設置してほしい。

A 使用する場合は、必要だと思います。

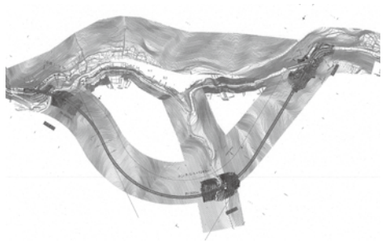
Q 旧池田小学校利用について、体育館、グラウンドは地元で使いたい。

A 地元使用が優先されると思うが、持ち帰って確認します。

小船・久曽木

Q アロイ工業について、いつごろ来るのか。

A 今年9月ごろと聞いているが、流動的です。



茗荷谷巻米トンネル説明図

Q 道の駅について、収支はどうなっているか。

A 観光開発事業団が経営しており、赤字経営です。

Q 国道482号の茗荷谷から巻米間のトンネルはどうなっているのか。

A 現地の調査中で、境界確認と地図の訂正が進んでいると聞いています。

Q 若桜で、大きな目玉になるような物がほしい。

A 若桜鉄道で、SLとかDLなど展示、利用が行われています。

中原

Q 旧池田小学校の体育館について、地元で使いたいが。

A 具体的な話は出ていない。決めるまでに地元との協議が必要と考えます。

Q 鳥獣害対策について旧池田小学校裏山付近に鹿が多く出てグラウンドまで出て来る。

A 担当課に伝えます。

Q 侵入防止柵補助について、一件でも補助してほしい。

A 持ち帰り検討します。

Q 鳥獣害一斉駆除について、一か所に片寄らず広域でやってほしい。

A 持ち帰り検討します。

Q 中原橋から下の河川に、土砂が多く堆積している、増水時危険なので撤去してほしい。

A 自治会として、陳情を提出してほしいです。

Q アロイ工業は、何人採用するのか。

A 20人くらいと聞いている。地元の採用を要望しています。

Q 池田小学校のトイレはつかえるのか。

A 地域の考え方が大切だ、要望が必要と考えます。

岩屋堂

Q 婚活事業について、どうなっているのか具体的に教えてほしい。男女の接する機会を多くつくるべきだ。

A 追跡調査をしていないので、成果がわからないです。

Q 鳥獣害対策について、侵入防止柵補助は一件でも補助してほしい。

A 単町でも出来ればと思うが、県に準じているので、今のところは難しい。議会での検討が必要です。

Q 農業指導専門員について、どの程度の方か。

A 果樹専門であったと聞いているが、他のことも相談できると思います。

Q 観光資源について、しっかりと掘りおこしをしてほしい。弁天さんや、岩屋堂だけでなく魅力発信を。

Q 下三河線について、どうなっているのか教えてほしい。粟倉に抜けるルートを考えてほしい。

A 吉川から奥が止まっている。江浪峠、若杉峠などは向こう側からは出来ています。

Q 岩屋堂のバイパスは、どうなっているか。

A 持ち帰り状況を報告します。

岩屋堂バイパス設計図

Q 人が減っている、何か考えるべきだ。

A 若桜は、人口問題が第一だと考えています。

Q バスの待ち時間が、3時間ある時がある。何とかしてほしい。

A 持ち帰りで検討します。

Q 移動販売車はどうだ。

A 赤字にはなっていないようです。

糸白見

Q 人口減少について、子どもができない、婚活事業もやっているようだがどうだ。

A 婚活事業どんどんやるべきだと考えています。場を多くつくることが大事で、いろいろな分野でやっていくべきだと考えています。

Q 他の集落の人が、糸白見のゴミステーションにゴミを捨てている。(バス停)

A 担当課へ伝える。啓発運動が重要だと考えます。

Q 村で何かしようとした場合、補助金の対象が分からない。補助金の一覧をつくって、公表してほしい。

A 情報提供は、公平・公正に周知すべきだと考えます。

消防ポンプ倉庫

Q 消防ポンプの倉庫について、老朽化が激しく建て替えに補助してほしい。

A 制度づくりが必要だと考えます。

Q 村の上にある国道からの進入路について、落石が多いが看板だけでいいのか。

A 担当課へ伝えます。

浅井

Q 普通建設事業費が昨年より増えているがなぜか。

A 吉川村中2号線改良工事、給食センター改築工事等があるためです。

Q 鬼ヶ城の登山道の途中にあるトイレが使えない。

A 担当課へ伝えます。

Q 鬼ヶ城について、二の丸、三の丸付近に、説明板のような物がほしい。

A 担当課へ伝えます。

Q 展望台の補修が必要。

A 担当課へ伝えます。

Q 母子センター跡地に、公民館を建ててほしい。

A 担当課へ伝えます。

Q 現在の給食センターを残して休憩施設にしてほしい。

A 担当課へ伝えます。

桜づつみ公園

Q 旧小学校の跡地利用について、何に使うのか。

A 6月にアンケートが行われる。今年度かけて検討されます。

Q 若桜学園のグラウンドを開放してほしい。

A 担当課へ伝えます。

Q 寺谷川の堰堤から道までの流路工のコンクリート化を。

A 担当課へ伝えます。

Q 車道谷の排水路がないため、増水時に道路に水がのる。

A 担当課へ伝えます。

Q ごみステーションの裏山について、立木が大きくなり、また、土質も悪く地山の崩壊の恐れがある。

A 担当課へ伝えます。

Q 桜づつみ公園について、法面の土留めが腐って土が水路に流れこんでいる。また、花壇の肥料代もなんとかしてほしい。

A 担当課へ伝えます。

Q 森林公園へ行く水路について、鶴の尾橋の上の水取り口付近が土砂で詰まっている。

A 担当課へ伝えます。

Q 浅井の日交バスのバス停に屋根が欲しい。下向きに帰る子どもたちが濡れている。

A 担当課へ伝えます。

Q 若桜橋の歩道について、強風時の歩行がかなり困難だ。

A 議会でも提言し、手すりが嵩上げされています。

Q 焼却炉の解体について、地元に説明がない。

A 担当課へ伝えます。

Q 防火水槽を設置してほしい。

A 陳情をしてほしいです。

巻米

Q 報告会の時期について、なぜ5月なのか農繁期で忙しい。

A 議会基本条例の要綱に沿って開いています。

Q 視察に行っているが、成果があるのか。

A 担当課と協議している。すぐには成果は出ないです。

Q 巻米分校の活用について、県のワーキング会議では話が出ている。活用について、地域と話し合い早急に決めてほしい。

A 地域と話し合うのが大事、吉川も話し合いを持った。

Q 農地災害の復旧補助制度について、少額でも出来るように拡充してほしい。

A (集落道、水路等の整備の80%助成制度を説明)。

Q 索道事業について、握索機や搬器は町の大切な財産なので大切に保管してほしい。保管する場所があるのに外に出してある。

A 現状が分からないので、持ち帰り確認し報告します。

巻米分校

Q 国道482号のバイパス進捗はどうか。

A 公図の訂正を行っているところで、本工事には入っていないです。

Q 香美町への通り抜けはどうなっているか。

A 「早期整備完成を進める会」が出来ており、少しずつ進むと思います。

Q 茗荷谷バイパスの問題点について、除雪や事故はどうか。

A 少しは聞いている。担当課へ伝えます。

長砂

Q 調査研究で、京都の道の駅を見ているが、若桜の道の駅に何かしようと思っての調査なのか。

A 何か若桜に活用できないかと調査しています。(感想について再度説明)

Q 具体的に提言しているのか、会議等開いて。

A 書面をもって提言しています。

Q 若桜をどうしたら良くなるのか考えているのか。

A 色々と多岐にわたってやらないといけない、何か一つ成功したら良いということではないです。

Q 寺谷の砂防ダムに土砂がいっぱいになっている、どうにかしてほしい。

A 担当課に確認します。

Q 残土の件は、どうなっているか。

A これまでに、町や県に伝えているが再度伝えます。

寺所・馬場

Q　地域の活性化について、若い者は下に出る、老いた者が残る。保険料等が高くなり、年金は少なくなるだろう。これから先をどう考えているのか。

A　（地方交付税について説明）林業の活性化、観光事業の活性化、子育てしやすい町、色々な分野で種をまいて行くことが大事です。

Q　人口減少について、どうしたら止まるのか、大変だと思うが努力してほしい。

A　止めることは難しい。ブレーキをどうかけていくかだと考えます。

Q　馬場の入り口から寺所までの除雪について、除雪の時間が一番遅い、どうにかしてほしい。毎年、お願いしている。

A　朝早くから出ていれば問題ないと思う。夜明け頃からの降雪についての除雪は、出動時間が遅くなり全体に遅くなります。

Q　上水道について、料金の統一化はどうなっているか。

A　今年も引き続き、上下水道懇話会で協議されており、年度内に方針が出る予定です。

Q　水道水のカルキの臭いがきつい、量についてはどうだ。

A　一定の量で出ていると思います。

Q　若桜鉄道について、車両故障が多い、車両が悪いのでは。

老朽化した若桜鉄道車両

A　車検はあるのだが、車両がかなり古くなっています。

Q　若桜鉄道について、収支はどうだ。

A　上下分離方式だが、24年度少し赤字が出ているようだと聞いています。

三倉

Q　人口減少について、人口の減りがかなり早い速度で減っていくと思う。減らさないための政策を色々と考えてほしい。

A　色々な分野で少しずつやっていくしかない。何か一つ成功すればいい訳ではない。農業、林業、教育、福祉等、一足飛びには出来ないです。

Q　農業とか、田んぼとか、共同で頑張れないか。

A　農業指導員を活用してほしいです。

Q　獣肉処理施設は出来たが、加工施設はどうか。

A　施設は出来ています。加工施設の設置はないです。

Q　シカが多い、どうにかしてほしい。

A　これから考えていかなければいけないです。

Q　馬場さん自宅の上の檻が放置したままで管理してない。

A　檻等を設置して捕らないとだめだと思います。

Q　侵入防止柵補助は、一軒でも補助してほしい。

住宅近くに出没するシカ

A　思いは分かる、担当課へ伝えます。

Q　農地以外の防止柵に、補助が出るか。

A　県の補助に順じていて、町独自の制度が必要と考えます。

Q　町道の脇の立ち木が大きくなって道路に被さって危険だ、切ってほしい。

A　状況は分かります、担当課に確認し報告します。

Q　除雪機が古いままだ、換えてほしい。

A　担当課に確認し報告します。

Q　村の前に橋が一本しかない、ごみステーションの付近に、橋が一本ほしい。

A　出来るか出来ないか、担当課に確認し報告します。

Q　公民館の前の手すりが錆びていて危ない、点検してほしい。

A　村として要望してほしい。担当課へも伝えます。

下町

Q　小学校の跡地利用について、今のままでは、風が吹くとホコリが舞って困っている、処理が必要。

A　6月の広報でアンケートが行われ、年度内に跡地利用がきまる。処理については、担当課へ伝えます。

Q　スキー場の入り口の道をなおしてほしい。

A　担当課に確認し報告します。

Q　城山林道の舗装が悪い、なおしてほしい。

A　担当課に確認し報告します。

Q　六角石垣のトイレが使えない。

A　現状を確認し報告します。

Q　鬼ヶ城にトイレ必要、駐車場付近に設置してほしい。

A　必要な施設だと考える、担当課に確認し報告します。

Q　水路への雪の投入について、時間が守れない、守らない。

A　行政を入れて話し合うべきだと思う。地域の常識やルールがあると思う。自治会で話し合ってほしい、周知をするしかないです。

Q　古い家を活かしやすくするためにも、リホーム補助等を出すべきだ。カリヤ通りの家についても、補助が必要。

A　考えは分かる、持ち帰り検討します。

Q　旧小学校の路上に出ている桜の枝を切ってほしい。

A　状況を見て、担当課へ伝えます。

Q　総合スポーツクラブについて、体育館の使用料は、今まで無料で使っていた人も使用料が発生するのか。従来からのスポーツクラブのやり方はどうなるのか。

総合型スポーツクラブ

A　従来から使っている人は、いらないと思うが、やり方も含め持ち帰り確認し報告します。

山田町

Q　奉仕作業について、いいことなのでやってほしい。

A　1年に一度やっている、継続したいと思います。

Q　議員定数について、審議したのか。

A　アンケート調査等を行い審議しました。

Q　旧小学校のグラウンド利用について、どうなっているか。グラウンドゴルフ場にしてほしい。また、親子づれで楽しめる物が必要。（東屋等）

A　赤字は少ないほうがいいが、維持しないといけないです。

Q　道の駅裏のストックヤード付近について、観光客がSLを見るためによく通るところなので、整理整頓、清潔にしてほしい。

A　担当課へ伝えます。

Q　ふれあい広場に、テニス練習のためのコンクリートの壁を造ってほしい。現在あるものは小さい。

A　現状を確認し検討します。

来見野

Q　特別会計の予算内容を詳しく説明してほしい。

A　（自治会長持参の資料をもとに説明）

Q　合併処理浄化槽事業について、来見野も指定してあるがどういう事か。

A　もちろん来見野も指定されている、周知が徹底されていないことは問題だ。どんどん設置してほしいです。

Q　ふるさと納税について、状況はどうだ。

A　増えている、どんどんしていただきたいです。

Q　町外から来ている職員について、ふるさと納税をしていただきたい。

A　町民税を払っている職員もいるようです。

Q　たばこ税について、たばこは町で買うようにと税収の事を言っているが、医療給付費が増えるのだから大変だ。

A　税収よりも、医療費の減少が重要だと考えます。

Q　アロイ工業について、どうなっているのか。

A　まだ、流動的だが今年秋ごろの開業の見込みです。鳥取工場の工事が予定より遅れています。

Q　道の駅は、立ち直せるか。

A　議会で聞いている。税理士の指導も受けながら経営をしています。

氷太くん

Q　観光開発事業団について、収支決算の状況を公表してほしい。

A　今年度中に検討すると聞いています。

Q　除雪について、雪を道路に出す人がいる危険だ。

A　周知が必要だと考えます。

Q　蔵通りの融雪装置のきき具合が悪い。

A　設置当初から調子が悪い。確認し報告します。

Q　駅前通りの歩道の除雪が悪い。

A　県の除雪範囲で、前年指摘をしており、少しはよくなっていると思います。

総務産業常任委員会調査研究報告

調査年月日　平成25年 **7月24日(水)～25日(木)**

調　査　地　（１）舞鶴市役所及び、杉山地区市民農園　（２）豊岡市役所出石支所

調査の目的　（１）耕作放棄地の解消に向けた取り組み　（２）行政と観光協会の連携

参　加　者　委員５名、事務局１名、執行部１名、計７名

（１）舞鶴市

①杉山地区「杉山市民農園」（14世帯、51人）

ＮＰＯ法人「名水の里すぎやま」を創設し、荒廃した原野を重機の利用と、住民総出の作業で復元した。水車の復元、米粉パンを焼く石窯、わさび園の整備、中でも棚田を利用して酒米作りをし「大杉の清水」を原料とする地元酒造場での地酒の製造と予約販売、住民の手による販売は核となる（１週間で完売）

手作りのパン焼き窯

②長谷地区（11世帯19人）

新規就農者が平成19年から耕作を開始した事により、放棄地が解消された。新規就農者が移住し人口が増加した。

感想（要約）

○毎月実施される様々なイベント、市民農園のＮＰＯ法人理事長のリーダーシップと地元の方々の一致団結した姿に感動した。
○行政の指導、支援と共に、リーダーの発掘、集落がらみでの活動にはパワーを感じた。本町でも他にない野菜などを集落単位での生産が出来ないか、検討してみる価値はあると思う。
○制度をうまく活用し、放棄地を復旧、集落をあげて交流事業をしていた。本町でも、酒造蔵と連携しブランド酒の開発、棚田の利用に取り組んでみたらと思う。
○制度の交付金を活用して遊休農地の復元、ＮＰＯ法人の立ち上げ、名水利用の地酒生産がなされていたが、やはり、リーダーと行政の連携の重要性を感じた。
○地域全体を巻き込んで、何か取り組みができないかとの考え、思いつく事が大事であり、自分たちで発信できる。取り組めるテーマを思考し、行政のアドバイスを受けながら地域に潜在する資源を探し、活用する努力は見習うべきである。

（２）豊岡市

豊岡市役所出石支所（出石町3,300世帯、人口11,000人、観光客年間63万人）

昭和43年、町民からの寄付により町のシンボル「出石隅櫓」の復元を行い、平成10年、町民・旧出石町等の出資により、協会から事業部門を独立させた「㈱出石まちづくり公社」を設立。

＜まちづくりの基本的考え方＞

・計画、基本方針だけではなく、町民をどう引き込んでいくか。
・観光基本は「観る」「味る」「診る」「魅る」の４つのみる。
・キーワードは、出石らしさ、生活の匂いなどの本物のこだわり。
・町ぐるみの出向えのための人づくり。

説明を受ける委員

感想（要約）

○若桜町は、好条件を生かし、協会、行政一体となって努力し、頑張って行く事が大事だ。
○住民を巻き込み、行政、協会、各団体が一体となり事業展開において、協議しビジョンをもっての推進が必要だ。
○本町と共通点があり、今後も交流を進め、知恵を借り、事業に取り組む努力をしていくべきだ。
○行政自らが事業者の意向を把握し対策がなされていて、行政担当者と協会事務局との連携が強固である事は、見習うべきである。
○観光客のための商店街づくりではなく、町民にとってもプラスになり、共に魅力を感じる施設の整備等が必要だ。

教育民生常任委員会調査研究報告

調査年月日　平成25年 **8月1日(木)～2日(金)**

調　査　地　（１）高知県椿原町　（２）岡山県真庭市

調査事項　（１）小中一貫校　（２）総合型地域スポーツクラブ

参　加　者　議会議員５名、議会事務局１名、
担当課職員１名　　計７名

（１）高知県椿原町（人口3,746人・面積237㎢）

高知県椿原町は、高知県の中西部に位置し、四万十川源流域にある自然豊かな町である。

◎椿原町立椿原学園

「今と未来をつなぐ」の言葉の元に椿原中学校・椿原小学校・四万川小学校・越知面小学校の４校が統合し、平成23年４月７日に開校された、現在の生徒数222人の学校である。

◎教育の方向

・こどもたちに確かな学力と豊かな心、健やかな身体を育むことによって、人格の完成を目指し、社会を担う者としての資質を身につけた人を育成する。
・学校依存ではなく地域を挙げて戦略的に育成する。地域の学校・町全体の学校としての新しい学校で、「施設一体型小中一貫校」は４－３－２のまとまりを大切にした、９年間の系統的な教育を実践する。

椿原学園視察資料より

感想（まとめ）

椿原町の教育方針は、地域の学校として、学校・家庭・地域・行政の連携により、町のこどもはみんなで育てるとの考え方に感銘を受けた。小中一貫校教育を充実して行くためには、地域を上げて総合支援体制を、作る必要がある。

（２）岡山県真庭市（人口49,495人・面積828㎢）

真庭市は、岡山県北部で中国山地のほぼ中央に位置しており、「ひるぜん焼きそば」でも知られた市である。

整備されているトレーニング機器

◎真庭市への調査内容

公共施設を指定管理にされての利点・問題点

・定期異動のある市の職員ではなく、専門的な知識を持った指定管理者が継続して施設の管理運営ができる。
・管理者を原則公募としているため、指定管理者が変更となる可能性がある。

◎総合型クラブへの調査内容

指定管理を受託している団体と協働している利点

・クラブ事務局を無償で間借りしている。
・活動場所の予約等、活動しやすい環境にある。
・クラブ事務局が不在でも、代理で対応していただける。

感想（まとめ）

総合型地域スポーツクラブは、従来からあるスポーツ関係の組織との関係を良好に維持することが重要である。総合型地域スポーツクラブを育成する事により、地域の活性化を図ることができる。

委　員　会　活　動　報　告

総務産業　常任委員会

平成25年8月8日

アロイ工業との契約
わかさ29工房の運営状況
氷ノ山グリーンエコリゾート推進協議会

Q アロイ工業の校舎利用範囲はどうか。

A 管理上のこともあるので、校舎全部になっている。トイレについても、体育館とロビーを仕切るとかして分けた形が可能か検討中。

Q 建物の管理責任は。（旧池小）

A 借主が見る様にお願いしている。

Q 「氷ノ山開発で目指すべき方向性と施策の展開」を見ると、受け持つ事業が10事業くらいあるが、どうなのか。

A 全部やろうと思うと非常に厳しいところもあるが、実行委員会など開きながら、役割分担や動員などの協力が必要です。しかし、人的要因もあり、なかなか動きづらい部分もある。

開発を望まれる氷ノ山一体

Q わかさ29工房の管理、運営、経費等の八頭町との負担割は。

A 人件費は別として、半分（均等割1/2、利用実績1/2）という覚書を締結している。

Q 直営で肉販売を行うと、町が販売業をするのか。

A 解体処理業の許可があれば販売できると県から聞いている。行政が直接販売できるかを検討している。

9月5日　**９月定例会補正予算**

公共交通　特別委員会

自由民主党本部へ要望活動

平成25年8月30日に、公共交通調査特別委員会９名で、過疎対策事業債に鉄道部門も対象として追加してほしいという要望活動を行いました。

要望書を提出したのは、下記の国会議員の方々ですが、とても感触が良く、実現は近いなという印象を受けました。

今年中には結論が出そうな回答だったので、年末が楽しみです。

自由民主党幹事長
鳥取県選出衆議院
石破　茂議員

自由民主党過疎対策特別委員会　委員長
鹿児島県選出衆議院　　森山　裕議員

自由民主党政調会長
奈良県選出衆議院
高市　早苗議員

鳥取県選出衆議院　　赤澤　亮正議員同行

教育民生　常任委員会

平成25年7月17日　**高野隣保館改修工事・他**

教育委員

説明 高野隣保館改修工事の図面ができ上がり、今月20日過ぎに入札をしたい。

Q 一階は、トイレ等、車いすで移動する場合、ドアより引き戸の方が良いと思う。

A 遊戯室は、引き戸を新設しますが、その他についても検討します。

説明 来年度は、全国近代化遺産協議会の全国大会が、若桜町で開催される。

9月4日　**９月定例会補正予算**

町民福祉課

Q 物忘れ相談（ＴＤＡＳ検査）の実施計画は。

A 今年度は15集落を計画しています。

町土整備課

Q 路線認定される町道の名前は。

A 町道測見茗荷谷線です。

教育委員会

報告 子ども国際交流事業は、予定どおりの行程で行うことができ、学校の歓迎会で、花束を持って出迎えてくれました。こちらも全員で「ふるさと」を韓国語で歌い、住所を交換したり、英語で話したり、とても良い感じでした。初回であり、スタートはこれからだと思います。

交流の様子

氷ノ山公共施設　特別委員会

町管理施設の視察

平成25年8月28日に、平井若桜町観光開発事業団理事長、坂口産業観光課長が同行しながら、各施設の状況や事業の進捗状況を聞きました。

氷太くん関連の説明を聞く様子

Ｒ482号線トンネル残土処理予定地

キャンプ場木道の状況視察

わたしの想い

このコーナーでは、議会、議員や議会だより等に
関わる町民の皆さんからの御要望や
率直なご意見を紹介いたします。

磨けば磨く程、輝く

高木　歩さん
（農人町）

先日、仕事での研修のため、学生時代を過ごした京都へ赴き、少し見ない内に変化した町の様子に驚いた。

駅前は外国人観光客を意識したショッピングモールと大型電気店が連なり、市内の観光要所にも同じような大手量販店が進出している。しかし、一歩路地を入ると古い京町家が並び、そこに住む人々の京都らしい風情が感じられる。

研修の目的の一つは、京の七夕祭りの視察。京都を縦に流れる堀川沿いにライトアップされた作品、市内の芸大生のモニュメント、京都ゆかりのある有名人の寄せた言葉が書かれた灯籠、流れる川に西陣織の展示、地元の子どもたちが作った七夕飾り、美しい造形生け花が並び、どれも地元の人々が協力して作り上げたものだ。観光客の減るこの時期の集客に七夕祭りを始めたのだという。

伝統と文化を重んじつつ、常に進化することを忘れない、京都ほどの町でさえ。立派な歴史や建造物に人は集まるのではない。状況に人は集まる。状況を作るのはそこに住む人々の町を大切にする思い。古くても良いものは磨けば磨く程、輝く。微力ながら磨く努力をしていきたいと思う。

年をとっても住みたい町・年をとっても住める町

尾坂　明紀さん
（吉川）

私は自分の家族が年をとって寝たきりになっても家で介護をしたい。でも、実際の在宅介護は決して楽ではない。介護保険サービスを使ってもサービスの入れない早朝や夜間は家族が食事やオムツ交換等の介護をしないといけないと思います。夫婦共働きが一般的なご時世で、仕事をしながら家族の介護、ともすればそれに子育て等も加わると考えた時、不安は尽きません。

私は仕事柄、多くの方の介護や医療に関する相談を伺っています。それぞれの事情や抱える問題は様々ですが、皆さんが、家庭に要介護者を抱えることで増える精神的・体力的・経済的な負担、今までの生活や就労スタイルの変化を恐れ、将来に不安を抱いて相談に来られます。

若桜は自然豊かで空気も良く「年をとっても住みたい町」です。美しい町若桜が「年をとっても住み続けられる町」であってほしい。高齢者介護を取り巻く状況は厳しいものですが、大切な家族を在宅で看てあげたいと思う介護者を支えてあげられる町づくりを願っています。

意見・写真をお寄せください　メール gikai@town.wakasa.tottori.jp　FAX 0858(82)2222

あとがき

衣替えの時期も過ぎましたが、暑くなったり、涼しくなったりしています。体調管理には充分気をつけて頂きたいと思います。

私達編集委員も、研修を受け、試行錯誤やってきましたが、多くの皆様に読んで頂いたかは、疑問です。

大変遅くなりましたが、今年の議会報告会のQ＆Aを、各集落ごとにのせています。ぜひ、一読していただきたいと思います。

4年の任期も、近く終わりになりますが、来年には、新しい委員構成がされ、できれば町民の知りたい事、自分たちが伝えたい事がより多く反映される議会だよりになればと思っています。

議会だより調査特別委員会
委員長　前住　孝行
副委員長　中村　敏明
委員　奈羅尾寿夫
委員　山本　晴隆
議長　岡本　和廣

発行・鳥取県八頭郡若桜町議会　TEL　0858(82)2212　FAX　0858(82)2222　HPアドレス http://www.town.wakasa.tottori.jp
編集・議会だより調査特別委員会　　印刷・中央印刷株式会社